

早稲田大学英語会 (WESS)、稲門英語会への寄稿文

タイトル: 英語会で学び育った特命全権大使

- 将来を担う早稲田大学生、同窓生への言葉 -

駐ウルグアイ特命全権大使

眞銅竜日郎(しんどう たつひろう)

早稲田大学英語会 (WESS) の学生、稲門英語会、同窓生の皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。眞銅竜日郎(しんどう たつひろう)と申します。ウルグアイ東方共和国駐劔 特命全権大使を 2018 年より務めております。

稲門英語会の曾我幹事長より、英語会出身の大使としての活動報告と皆様へのメッセージを送付するようご依頼を頂きました。日本と世界の将来を担う学生と同窓生の皆様のご参考になればと考え、南米・ウルグアイより寄稿します。

〈英語会を専攻した大学時代〉

小生は早稲田大学政治経済学部を昭和 57 年(1982 年)に卒業しました。在学中は英語会に所属しました。英語会では新宿ホームミーティング、スピーチ・セッションにて活動しました。英語会で研鑽を積んだ皆様と同様、小生は英語会で知り合った素晴らしい仲間恵まれて、学業以上に英語会の活動に注力しました。振り返れば若気の至りで赤面する事柄が多い、自由闊達な学生生活でありました。小生は早稲田大学で専攻した国際政治学のゼミナールと等しく、英語会を専攻したと申しても過言ではありません。掛け替えのない青春時代を過ごしました。

特に、数百名にのぼる大所帯の英語会を牽引して立派に運営された曾我先輩(幹事長)、間澤幹事長、筒井副幹事長をはじめとする当時の執行部、同志の献身的な尽力に深甚なる謝意を表します。

〈チーム・絆・KIZUNA を唱導〉

小生は日本貿易振興機構(JETRO)を経て外務省に奉職しています。これまで海外駐在では米国ニューヨーク、シカゴ、メキシコ、スペイン、ウルグアイの 5 ヲ所に勤務しています。小職の約 40 年に及ぶ仕事、海外経験を基に培った信条があります。将来を嘱望される皆様に英語会出身の小生の経験が役立てばと考え、激励のメッセージとして紹介します。

小職は所管する組織、大使館を率いるにあたり、仲間と一緒に歩むスローガンを掲げています。英語では、"Let's move forward! Value teamwork. Work hard and stay healthy." であります。「力を合わせて共に前進しよう。チームワークを重視しよう。誠心誠意を籠めて一所懸命に働こう。そして健康を大切にしよう」の合言葉です。

米国シカゴでは東日本大地震を目の当たりにし、「チーム・絆・KIZUNA: The Bonds of Emotion」を立ち上げて震災復興支援に総力を挙げて取り組みました。ウルグアイでは「チーム・絆・KIZUNA・VINCULO」を唱導して大使館員、ナショナル・スタッフを鼓舞しています。

外交は国益を巡る戦いです。大使の重要な任務は国際交渉です。交渉の目的は日本の国益を最大化する点に凝縮されます。具体例を挙げると、万国博覧会の誘致、国際機関の主要ポストを争う選挙において敗北は許されません。必ず勝利せねばなりません。ウルグアイでは小職が特命全権大使として相手国政府に働き掛け、外交交渉を行います。目的を達成するために戦略を構築し、戦術を練り、あらゆるリソースを投入して臨みます。

外交官には7つの資質が求められると言われます。即ち、誠実、正確、平静、謙虚、忠誠、機嫌、忍耐であります。日本国を代表して海外で精励するに際し、必須の資質になりますが、これらの能力が求められる対象は外交官に限りません。国内海外で働く人々、組織を統率する指導者、社会人として必要な資質であると考えます。英語会で研鑽を積む皆様にも当て嵌まります。

人生は修行の道であります。諺では、“艱難汝を玉にす”。”Adversity makes you strong.”です。継続は力なり。目的意識を持って不断の努力を続けることが大切です。そして、謙虚な姿勢を保ち、感謝の気持ち、恩返しの意志を絶えず持つ。明るく前向きに取り組む。元気に挨拶する。誰よりもきめ細かな気配りを行う。困難に遭っても諦めないことが重要です。

小生は活動領域では米国とラテンアメリカを主戦場としております。米州大陸、ラテンアメリカで働くに際し、英語は堪能で当たり前です。教養あるネイティブと英語で堂々と議論するレベルが必要です。英語を習得するだけでも弛まぬ努力を要しますが、更にスペイン語を操る能力が望まれます。英語に加えてスペイン語を身に付けると世界が桁違いに広がります。南米・ウルグアイでは大統領、副大統領、外務大臣等の要人とスペイン語で意思疎通せねばなりません。通訳を介して間接的に話しては相手の心は開きません。一所懸命に自分の言葉を用いてスペイン語で語り掛けることで誠意が通じて尊重されます。

そして、ユーモアのセンスが大切です。気の利いた洒落た話題で笑いを誘い、胸襟を開いて信頼関係を結ぶ重要な要素になります。仕事の事務的な内容に終始しては退屈で相手にされません。教養と品格が問われます。

我々が共生する世界はとても広いです。超大国の米国が大きな影響力を持ち続ける国際情勢にあります。英語だけで通じる世界が全てではありません。好奇心を絶えず持って何事にも積極的に取り組む姿勢が必要です。多様な社会、価値観を受け入れる深い懐、寛容の精神を持つことが大切です。

小生は大使としての日々の活動で沢山のひと々と面談し、多くの講演、スピーチを行います。英語会においてスピーチ、ディベート、ドラマ等の活動を通じて磨いた能力が大いに生きています。相手を説得する力、分かりやすく効果的なプレゼンテーション、論理的思考、チームワークの重要性等、基本的な知識を英語会の活動を通じて学びました。

〈天皇陛下のお言葉を賜り、御恩返する強い意志〉

小職は大使を拝命するにあたり、皇居で行われた認証式に臨み、天皇陛下より特命全権大使に任命する官記(任命書、辞令)を頂戴しました。天皇陛下、皇后陛下に拝謁した際、「東日本大地震が発生した時、ウルグアイは地球で最も遠い国であるにも拘わらず、真っ先に支援を申し出てくださいました。そして、救援物資と義援金を送ってくださいました。この御恩を生涯忘れません。バ

スケス大統領とウルグアイ国民の皆様にご心からの謝意を伝えてください」とのお言葉を賜りました。

安倍総理大臣には首相官邸において、「中南米には 100 年に及ぶ移住の歴史で、長年に亘りご苦勞しておられる日系人が多数おられます。そして、日系企業は日本から最も遠い地域で戦っています。現地では日系人と日系企業への支援を最優先して取り組んでください」との指示を受けました。小職は天皇陛下、皇后陛下のお言葉と安倍総理大臣の指示を胸に刻み、日系人と日系企業を全力で支援しています。

小生は日本貿易振興機構(JETRO)に勤務して、貿易と投資の促進に生涯を掛けて取り組んできました。貿易と投資は一方通行ではなく双方向で促進し、WIN-WIN の関係を構築するのが重要であるとの基本方針を掲げています。ジェットロで培った経験、知識、ネットワークを活かして大使館での仕事に役立てています。双方向の貿易と投資、ビジネス促進に繋がる企画を提案し、新しい風を吹き込んでいます。

小職はこれまで約 40 年間、社会人として働いてきました。この間、不幸にして身体を壊したり、殉職した同僚、友人がいます。志半ばで斃れた同志の遺志を継いで、彼等の分まで貢献せねばならないと考えています。斯く申す小生自身、歳を取りましたが、辛うじて精勵する力を保持しています。小生を育ててくださった恩師、諸先輩、お世話になった方々に御恩返しをするとの強い意志を持って邁進しています。

〈小さくてもキラリと光る国〉

ウルグアイ東方共和国について説明します。地球儀をみると、ウルグアイは日本の正反対に位置します。ブラジルとアルゼンチンに挟まれ、大河のラプラタ川に沿っています。従って、季節と時差は日本の真逆になります。国土面積は日本の約半分です。なだらかな草原地帯が広がる緑豊かな国です。一般的にラテンアメリカと聞くと賑やかなイメージを持ちますが、ウルグアイ人は穏やかな国民性が特徴です。ウルグアイは中南米では、一人あたり GDP、民主主義指数、法治指数、非腐敗指数が第1位にランクする成熟国であります。民主主義、法の支配、市場経済、人権を重視しており、日本と共通の価値観を有する国際社会の優良なパートナーです。経済政策では自由貿易を標榜しており、GATT・ウルグアイ・ラウンドを主導して歴史に名を遺しています。主要輸出産業は牧畜・農林業であり、人口が 350 万人に対し、牛は 1,100 万頭、羊は 600 万頭が暮らす牧畜国です。牛肉の消費量は一人あたり年間約 60 キログラムで世界第1位。日本の約 10 倍の高い水準です。名物料理は、アサードと呼ばれる豪快な焼き肉バーベキューとタナ種のワインが特産です。美味しいアサードとワインを是非とも皆様に賞味して頂きたく願っています。

ウルグアイは政治の年を迎えています。大統領・議会選挙が 2019 年 10 月、11 月に実施され、野党・国民党(中道右派)のラカジェ・ポウ候補(上院議員)が勝利しました。政権交代を訴えて野党5党が連合を組んだ結果、与党・拡大戦線(中道左派)のマルティネス候補(モンテビデオ県知事)に決選投票で逆転勝利しました。大統領就任式は 3 月 1 日に行われ、15 年振りに政権が交代しました。大統領選挙に続いて、県知事、県議会選挙が本年に実施予定です。

今回の大統領選挙では史上初となる特徴が幾つも現れました。即ち、①最若年となる 46 歳の大

統領が誕生した、②初の女性副大統領候補が当選した、③初の 5 党による多党連立政権、④初めて過半数を得票しない大統領候補が最小僅差で逆転勝利したの各点です。

特筆に値するのは大統領選挙キャンペーン、予備選挙、第 1 回投票、決選投票、就任式の過程で暴動、騒乱が起きず全てのプロセスが平和裡に完了し、ウルグアイにおける民主主義の成熟度の高さを立証しました。ラテンアメリカの近隣国で政情不安、暴動、治安悪化等が起きる状況にも拘わらず、“小さくてもキラリと光る国”ウルグアイは安定した民主主義、政党政治を実践しています。

〈日本は高い評価を獲得、ソフト・パワー外交を推進〉

ウルグアイにとり日本は地球の反対に位置する遙か遠い国ですが、ウルグアイ国民は日本に対して好意的な印象を持っています。日本人は勤勉、真摯、謙虚、清潔、礼儀正しい、約束を守る等の評価を獲得しています。主な日本製品では自動車、電気製品、光学機器等の高品質な製品とサービスが当地での信頼を確立しています。文化、スポーツでは、日本料理、漫画、アニメ、映画、カラオケ、コスプレ、空手、柔道、合気道、剣道等の武道、茶道、生け花等が日本の魅力として知られています。日本国大使として、日本に対する高い評価を誠に有り難く受け止めております。

和食は日本が誇るソフト・パワーであります。外交を展開するにおいて強力なツールとなります。ウルグアイには、しっかりとした日本レストランがありません。日本食材店がないことから、食材の調達に苦労します。このため、大使公邸が唯一、本格的な日本料理を提供できる処になります。小生が帯同した公邸料理人が真心を籠めて作る会席料理は当地では比類なく、最高の評価を獲得しています。これまで、バスケス大統領、ムヒカ大統領、ラカジェ・ポウ大統領の歴代大統領夫妻を複数回、大使公邸にお招きしています。ご招待した大統領、副大統領、大臣、各界の要人、各国大使等は公邸で差し上げる日本料理を食して感嘆します。ウルグアイ人が愛飲するマテ茶を用いたアイスクリームを新規開発するなど、日本とウルグアイの調和を図るメニューを提案して感動を与えています。ウルグアイに初めて輸出を開始した和牛を用いた料理に日本酒、梅酒、ウイスキー、ワイン等を組み合わせて、日本産食品の輸出、普及啓蒙を促進しています。

小職がメディア・インタビューを受ける際、ウルグアイの記者、カメラマンが持っているプロフェッショナル用機材は殆ど全て日本製です。カメラマンは日本製の機器は素晴らしい、満足であると異口同音に語ります。日本製の放送機材を手にした報道陣に囲まれて質問に答える時、小生は母国の日本を誇りに思います。

日本のブランド・イメージを最高水準にまで向上させたのは、日本のあらゆる分野の関係者が高い品質とサービスを追求し、弛まぬ努力を積み重ねてきた働きの集大成であります。これまで海外で奮闘された先達に敬意を表します。

国際政治においても、ウルグアイ政府、各国大使、外交団は日本に対して敬意を示します。誠実で有言実行の日本は信頼を獲得しています。中南米地域で長年に亘り継続実施している日本の国際協力活動による貢献が高く評価されています。ウルグアイで展開する日本の国際協力は、草の根・人間の安全保障無償資金協力が主体となります。これまでの供与実績は、123 プロジェクトにのぼります。具体的な供与・支援分野は、救急車、消防車、医療車、教育施設、医療・介護施設、

治療機材、検査機器等、多岐にわたり、きめ細かな支援を継続しています。

加えて、国際協力機構(JICA)は累計 1,500 名にのぼるウルグアイ人を日本に研修派遣しています。消防、警察、環境等、多方面の人材が活躍しています。さらに、累計 170 人のシニア・ボランティアをウルグアイに派遣し、日本語教育、介護等の分野で貢献しています。

小職が内陸部の町で救急車の供与式を行った時、市民が小生に駆け寄り、涙を流しながら「我々の町には病院がありません。近くの病院に行くのに数時間かかります。日本政府が寄贈してくれた救急車はまさしく命綱になります。この御恩は生涯忘れません」と述べました。ご婦人が小生を強く抱擁して涙ながらに語った表情と言葉は小職の脳裏に刻まれています。

〈ウルグアイで史上初となる活動を展開〉

小生は駐ウルグアイ特命全権大使として着任して 2 年になります。この間、日本とウルグアイにとり史上初となる歴史的な出来事が続きました。主な実績を 10 点、紹介します。

①2018 年 12 月、安倍首相が日本国総理大臣として史上初めてウルグアイを公式訪問されました。日本・ウルグアイ移住 110 周年の記念の年に総理大臣の初訪問が実現しました。在ウルグアイ日系人と感激の対面を行い、110 年の長きに亘り尽力されている日系人の念願が叶いました。大願成就し、新たな歴史を刻むことができました。

②安倍総理大臣とバスケ大統領の首脳会談においてウルグアイの主要産品である牛肉の相互輸出解禁を合意発表しました。そして、2019 年にウルグアイ産牛肉と和牛の相互輸出が実現しました。口蹄疫発生により日本では輸入禁止されていたウルグアイ産牛肉が、19 年振りに解禁されました。両国関係者の粘り強い努力が結実し、遂に日本市場でウルグアイ産牛肉を味わえます。ウルグアイの牛は豊かな自然で放牧され牧草を食べて育ったストレス・フリーの健康な牛です。日本の消費者はグラスフェッドの豊潤な赤身ステーキを食せるようになりました。

同様に日本産牛肉・和牛の史上初めてのウルグアイ輸出が実現しました。牛肉の相互市場開放に関して両国間で双方向の貿易が進展しており、喜ばしく受け止めています。

③双方向の貿易投資促進の関連では、石毛ジェトロ理事長が初めてウルグアイに来訪されました。両国首脳声明に盛り込んだジェトロ・ビジネス・ミッションが派遣され、日本企業の新規進出に繋がりました。日本国総理大臣の初のウルグアイ公式訪問とジェトロ・ビジネス・ミッションが実現したお陰で、両国間の双方向の貿易投資が嘗てないレベルで活発化しています。

④ウルグアイへの日本食品の輸出では、史上初となる本格的な日本酒である岩手県の南部美人の輸出が実現しました。震災復興支援に共に取り組んでいる南部美人の久慈社長の尽力により、新鮮で洗練された本物の日本酒をウルグアイで味わえるようになりました。

小職はラグビー・ワールドカップに参戦するウルグアイ代表チームの日本での健闘を祈り、役員、監督、選手、スタッフ、家族を激励するため大使公邸で開催した壮行会で鏡開きを執り行いました。震災復興支援の思いを籠めて岩手県・南部美人の酒樽を開きました。南部美人の日本酒の盃を掲げて皆で合唱して乾杯しました。

ウルグアイは美味しいタナ種のワインを生産しています。中南米では唯一となるキャビアの養殖、商業化に成功した企業があります。しかし、ウルグアイは日本市場で知名度が高くありません。豊潤な牛肉、ワインとキャビアのコンビネーションを駆使してブランド価値を高めるマーケティング、ブランディング戦略が必要です。食品、酒類の分野においても双方向の貿易が発展するよう振興しています。

⑤経済関係では、日本とウルグアイ政府が交渉を積み重ねて合意に達した「租税条約」に、アストリ経済財務大臣と小職が両国政府を代表して 2019 年 9 月に署名しました。日本とウルグアイ間では 2017 年に「投資協定」が発効しています。両国企業の経済活動に資するビジネス投資環境を整備し、制度面を充実させることは政府の重要な役割であります。租税条約を早期に発効させるべく立法府で批准手続きを進めるよう働き掛けています。

⑥御代替り即位の礼では、天皇陛下御即位を記念し、祝賀記帳とレセプションを厳かに執り行いました。

⑦スポーツ交流では、日本で大いに盛り上がったラグビー・ワールドカップにおいてウルグアイ・ナショナルチーム「ロス・テロス」は震災復興のシンボルである釜石鶴住居復興スタジアムで強豪フィジーと戦い、歴史的な勝利を挙げました。ウルグアイはフィジー、ジョージア、オーストラリア、ウェールズの強豪と対戦しました。試合会場は釜石、熊谷、大分、熊本の 4 カ所であり日本各地で戦いました。代表チームの愛称である「ロス・テロス」は、ウルグアイの国鳥の名前です。

岩手県釜石の復興スタジアムは地震と津波により甚大な被害を受けた場所に建設されました。熊本県も震災被害を受けました。このため、釜石と熊本で開催する試合には震災復興への強い思いを籠めて臨みました。小職はウルグアイ代表チームの壮行会を大使公邸で開催しました。そして、首都モンテビデオのチャルーア・スタジアムで行われた壮行試合で、国旗・日の丸と皆で激励の言葉を寄せ書きした「絆・KIZUNA」応援旗を代表チームに託しました。

我々の祈りが通じて、ラグビー・ワールドカップの初戦でウルグアイが大勝利しました。快挙達成であります。チームワークとタックルの見事な勝利です。釜石復興スタジアムは歓喜と感涙に包まれました。小生はウルグアイ代表チームを支援して日本出張しました。小職は駐ウルグアイ大使として、秋篠宮殿下、妃殿下、復興大臣、国会議員、スポーツ庁長官、日本ラグビー協会会長をはじめとする釜石復興スタジアムで観戦された方々に御礼を申し上げ、ウルグアイの状況を説明しました。皆様は圧倒的に不利な予想を覆して勝利を挙げたウルグアイの健闘を称えてくださいました。釜石復興スタジアムで同席して応援したフェラーリ・ラグビー協会会長、フェレール駐日ウルグアイ大使、ラグビー関係者は感涙に咽び、抱擁の連続でした。

ウルグアイ代表チームは試合に加えて、日本各地で青少年、市民との交流を図りました。日本のサポーター、観客はウルグアイの国歌をスペイン語で覚えて合唱し、選手達の士気を高めました。歴史的勝利に加えて、ラグビーを通じて国際親善を図り、勇気と感動を与えたロス・テロスの貢献を称えます。

⑧医療介護分野では、パロ・セラピー・ロボットを初めてウルグアイに紹介し、大統領、小児病院、介護施設に寄贈しました。パロ・ロボットの開発者である柴田博士がウルグアイに来訪され、大学、病院、介護施設等を訪ねてセミナー等を開催し、普及啓蒙活動を行いました。パロちゃんは小児がんと闘う子供達の痛みと不安を軽減し貢献しています。

高齢化が進む日本とウルグアイは類似した社会構造を持っています。少子高齢化は両国に共通する重要な課題です。日本が急速に進展する高齢化社会に対応するために研究開発した優れた機器、サービスをウルグアイに紹介する取り組みを継続します。

⑨小職はラテンアメリカ統合連合(ALADI)本部で域外国の大使として初めて単独講演を行い、日本のメッセージを発信しました。G-20 サミットが2019年6月、日本で開催されました。大阪で開催されたG-20 サミットには37カ国・機関のトップが参加しました。G-20 大阪サミットは日本がホストする最高レベル、最大規模の国際会議でした。南米からは地域を代表するブラジルとアルゼンチンの大統領が訪日しました。G-20 サミットのサブスタンスとしては、「大阪トラック」、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」をはじめとする多くの合意を採択しました。

国際社会に積極的に働きかけて貢献せねばならないとの思いは小生も同じであります。小職は国際機関であるラテンアメリカ統合連合(ALADI)の本部で講演を行いました。メルコスール(南米南部共同市場)をはじめとする多くの自由貿易協定、経済統合がALADIの傘下にあります。小生は南米で情報提供される機会の少ない日本の外交政策、経済統合、経済連携協定の進展、日本・メルコスール関係、日本・ウルグアイ関係、G-20 サミット等に焦点を当てて講演しました。今後も日本のメッセージを打ち込む情報発信に努めます。

⑩最初に紹介した安倍首相の史上初の公式訪問に関連しますが、在ウルグアイ日本国大使館は歴史上初めて総理大臣を受入れました。総理大臣が外遊中の業務を円滑に進めるには最高レベルのサブスタンスとロジスティクスが求められます。政府専用機が初めてウルグアイの大地に着陸しました。政府専用機には総理大臣夫妻、官房副長官、首相補佐官、秘書官、各省幹部、同行記者団等、多数の要人が搭乗しており、首相官邸の機能が永田町からウルグアイに移動することを意味します。政府専用機がウルグアイの天空から現れ、日の丸の翼を輝かせて着陸する姿は感動的な光景でした。それでも、政府専用機を離着陸させる業務だけでも、政府、各省庁、軍、警察、税関、空港等、関係者とのきめ細かな調整が必要です。加えて、両国首脳会談、午餐会、日系人との面談、総理夫人プログラム等、滞在中の全ての日程を分刻みで滞りなく完了せねばなりません。小職は「チーム・絆・KIZUNA」を唱えて、不眠不休の態勢で大使館員を率いて任務を完遂しました。重要ミッションを成し遂げられたのは、チームワークの賜でありました。

上述したとおり、日本・ウルグアイ関係において初めて尽くしの年でありました。

〈民主主義の安定度を内外に示した大統領交代〉

ウルグアイの政治動向について記述します。大統領選挙が2019年に実施され、野党連立候補のラカジェ・ポウ上院議員が与党候補のマルティネス・モンテビデオ県知事に決選投票で逆転勝利しました。ウルグアイで15年ぶりとなる政権交代が3月1日、円滑に行われました。特筆すべき点は、大統領選挙、就任式の過程で暴動、騒乱が起きず、全てのプロセスが平和裡に完了し、ウル

グアイにおける民主主義の安定度を証明したことであります。

大統領就任式には日本政府を代表して、河村建夫衆議院議員（元文部科学大臣、官房長官）が特派大使として来訪されました。河村特派大使と小職は大統領就任式に参列しました。大統領が平和裡に交代する厳かな就任式でありました。ラカジェ・ポウ大統領は河村特派大使との個別会談で、日本の歴史と文化、勤労の精神への尊敬の意を表し、2021年に日本・ウルグアイ外交関係樹立100周年を迎えるにあたり、両国関係の一層の強化、及び、大統領自ら訪日を希望すると述べました。そして、日本・メルコスールEPA（経済連携協定）への関心を示しました。

バスケス前大統領は独立広場で行われた大統領交代式に登壇し、ラカジェ・ポウ新大統領に綬を結びました。そして、バスケス大統領はラカジェ・ポウ新大統領にエスコートされて、満場の拍手を受けながら一步一步ゆっくりと降壇して独立広場を去りました。ウルグアイにおける円滑な政権交代と世代交代を象徴する光景でありました。

ムヒカ元大統領は国会議事堂で行われた大統領就任の宣誓式において議長・進行役を務めました。ラカジェ・ポウ新大統領とアルヒモン新副大統領の宣誓式を取り仕切りました。ウルグアイ国歌を列席者全員で合唱する大音声が議事堂に響き渡りました。独立広場での大統領交代式と同様、ウルグアイにおける平和裡な政権交代と世代交代を象徴する場面でありました。

小職はラカジェ・ポウ大統領、アルヒモン副大統領、デルガド大統領府長官、タルビ外務大臣、アルベレチェ経済財務大臣等の新政権幹部を連日訪ねて、日本のメッセージを直接打ち込んでいます。これまでウルグアイで15年間に亘り継続した左派政権が右派に転換します。政治の振り子が反対のベクトルに振れます。政治環境の変化に細心の注意を払って対応する必要があります。小職はラカジェ・ポウ大統領が率いる新政権との信頼関係構築に取り組み、外交関係樹立100周年の記念の年に向けて注力する所存であります。

〈新型コロナウイルスとの闘い〉

世界各地で猛威を振るう新型コロナウイルスの負の影響を懸念しております。新型コロナウイルスの被害をくい止めていたウルグアイですが、3月13日、感染者が確認されました。これを受けて、ラカジェ・ポウ大統領は緊急事態宣言を行いました。学校の休校、各種イベントの中止、施設の閉鎖等の措置を発表しました。隣国・アルゼンチン、ブラジルとの国境を封鎖しました。米国、欧州を結ぶフライトは停止されました。政府は外国人等の出入国制限を行う大統領令を発しました。

ウルグアイではコロナウイルス感染者が424名、死者が7名（4月7日時点）となり、拡大する状況にあります。最初の犠牲者はラカジェ元大統領（現大統領の実父）政権で国防大臣を務めた政治家でした。二人目の犠牲者は医師です。嘗て国際協力機構（JICA）研修員として日本で学んだ経験を持つ人物であり、悲しみが広がっています。

小生が率いる在ウルグアイ日本国大使館は総力を挙げて対応しています。3月18日に開催予定で準備した天皇誕生日レセプションを中止しました。日本からの来訪者、複数の事業がキャンセルされました。しかし、最優先するのは安全と安心であります。ウルグアイの在留邦人、日系人を保護する態勢を整えて臨んでいます。邦人が安全に帰国できるよう支援しています。謂われのな

い風評被害から在留邦人と日系人を守らなくてはなりません。

英語会の関係者の皆様が無事でおられるよう祈念しております。事態が早期に収束するよう強く願っています。

〈外交関係樹立 100 周年に向けて〉

将来に目を向けると、2021 年に日本・ウルグアイ外交関係樹立 100 周年の佳節を向かえます。次世代に襷を繋ぐ取り組みとして、国交 100 周年記念事業実行委員会を立ち上げて準備を進めています。実行委員会では祝賀行事、記念切手の発行、記念碑の建立、セミナー、コンサート、展示会、文化事業、スポーツ・イベント等の企画を検討しています。外交関係樹立 100 周年を視野に入れて、友好と絆のシンボルである桜の植樹をウルグアイ各県で開始しました。

日本とウルグアイが「令和」の時代に相応しく、美しい調和を保ちながら両国の関係が発展するよう、小生は「チーム・絆・KIZUNA・VINCULO」を牽引し、誠心誠意を籠めて取り組んで参ります。

〈進取の精神を発揮して雄飛を期待〉

英語会で活動している学生、同窓生の皆様は基本的に英語に関心を持ち、語学能力を向上させて国際的な分野で貢献したいと考えておられると拝察します。留学する学生も多いと理解していません。天然資源に乏しい日本にとり最大の拠り所は人的資源であります。日本は人的資源を活かして優れた財とサービスを生み出し、切磋琢磨しながら発展しないと生存できません。第二次世界大戦で灰燼に帰した日本が世界有数の先進国に成長した道程には、国内外で奮闘した先達が営々と積み重ねた努力がありました。諸先輩が遺した宝物のお陰で、我々は世界で稀に見る豊かな生活を享受しています。一方、日本での生活が快適で恵まれているため、海外勤務を志望する日本人が減少する傾向にあると伺います。日本と異なる生活環境を苦勞すると思うのか、それとも遣り甲斐があると位置付けるのかは皆様の価値観、判断基準に依ります。確実なのは、日本が国際的な競争力を失うと衰退への道を辿ります。

世界は広く多様性に富み、魅力に溢れています。有為な若者には世界に雄飛して活躍して頂きたいと望みます。英語会で学ぶ皆様が進取の精神を発揮して、次世代の先駆者になるよう願っています。

日本ではメディア紹介される機会が少ないウルグアイですので、最近の動向を含めて記述しました。在ウルグアイ日本国大使館のホームページでも情報発信を行っているのでご覧ください。

縷々、長文を認めて恐縮であります。拙稿が皆様のご参考になれば幸甚です。

早稲田大学英語会、稲門英語会の皆様のご健勝をウルグアイより祈念しております。

(令和 2 年 4 月 8 日記)

【バスケス大統領と眞銅大使 / 大統領公邸】



【ラカジェ・ポウ新大統領と眞銅大使 / 大使公邸】

